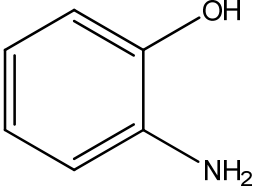


1	CAS 番号：95-55-6	物質名：o-アミノフェノール
化審法官報公示整理番号：3-675（アミノフェノール） 化管法政令番号： 分子式：C <sub>6</sub> H <sub>7</sub> NO 分子量：109.13 構造式： 		

### 1. 物質に関する基本的事項

本物質の水溶解度は  $1.92 \times 10^4$  mg/1,000g (20 ) で、分配係数 (1-オクタノール/水) (log Kow) は 0.62、蒸気圧は  $5.01 \times 10^{-4}$  mmHg (=0.067 Pa) (25、計算値) である。生物分解性 (好氣的分解) は BOD 分解率で 18~27% である。また、加水分解性の基を持たない物質とされている。

本物質の主な用途は、染料中間体 (アゾ系媒染染料)、写真薬とされており、アミノフェノールの平成 24 年度における製造・輸入数量は 1,000t 未満である。

### 2. 曝露評価

化審法第一種指定化学物質ではないため、排出量及び移動量は得られなかった。Mackay-Type Level III Fugacity Model により媒体別分配割合の予測を行った結果、大気、水域、土壤に等量排出された場合、土壤に分配される割合が多い。

水生生物に対する曝露を示す予測環境中濃度 (PEC) は、公共用水域の淡水域では概ね 0.020 µg/L、同海水域では 0.021 µg/L 程度となった。

### 3. 生態リスクの初期評価

急性毒性値は、藻類では緑藻類 *Pseudokirchneriella subcapitata* の生長阻害における 72 時間 EC<sub>50</sub> 150 µg/L、甲殻類ではオオミジンコ *Daphnia magna* の遊泳阻害における 48 時間 EC<sub>50</sub> 570 µg/L、魚類ではメダカ *Oryzias latipes* の 96 時間 LC<sub>50</sub> 670 µg/L が信頼できる知見として得られたため、アセスメント係数 100 を適用し、急性毒性値に基づく予測無影響濃度 (PNEC) 1.5 µg/L が得られた。

慢性毒性値は、藻類では緑藻類 *P. subcapitata* の生長阻害における 72 時間 NOEC 1.8 µg/L が信頼できる知見として得られたため、アセスメント係数 100 を適用し、慢性毒性値に基づく PNEC 0.018 µg/L が得られた。

本物質の PNEC は、藻類の慢性毒性値から得られた 0.018 µg/L を採用した。

PEC/PNEC 比は淡水域で 1.1、海水域では 1.2 となるため、詳細な評価を行う候補であると考えられる。

有害性評価 (PNEC の根拠)			アセスメント係数	予測無影響濃度 PNEC (µg/L)	曝露評価		PEC/PNEC 比	PEC/PNEC 比による判定	評価結果
生物種	急性・慢性の別	エンドポイント			水域	予測環境中濃度 PEC (µg/L)			
藻類 緑藻類	慢性	NOEC 生長阻害	100	0.018	淡水	0.020	1.1		
					海水	0.021	1.2		

### 4. 結論

	結論	判定
生態リスク	詳細な評価を行う候補であると考えられる。	

